



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社サンドラッグ 上場取引所 東
 コード番号 9989 URL <https://www.sundrug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 貞方 宏司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 好伸 (TEL) 042 (369) 6211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	207,698	6.7	12,276	12.4	12,147	14.1	7,944	9.0
2025年3月期第1四半期	194,565	6.8	10,919	10.3	10,643	5.3	7,290	5.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 7,952百万円(8.6%) 2025年3月期第1四半期 7,322百万円(5.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	67.92	—
2025年3月期第1四半期	62.33	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	442,269	270,063	61.1
2025年3月期	444,007	269,713	60.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 270,063百万円 2025年3月期 269,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	65.00	—	66.00	131.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	419,200	6.0	23,100	8.9	22,350	7.3	15,350	7.6	131.24
通期	850,000	6.0	47,300	6.3	46,000	4.9	31,700	3.1	271.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	119,331,184株	2025年3月期	119,331,184株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	2,363,857株	2025年3月期	2,363,857株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	116,967,327株	2025年3月期1Q	116,951,661株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日~2025年6月30日)におけるわが国経済は、緩やかに回復していますが、米国の通商政策等による不透明感がみられました。引き続き雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加等が回復を支えることが期待されますが、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等も景気を下押しするリスクとなっております。加えて当業界におきましては、同業他社との出店競争や大手同士の業界再編、他業態との競争等、当社を取り巻く経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き「安心・信頼・便利の提供」をキーワードに、専門性を一層高め、お客様に必要なかつ期待されるサービスレベルの向上を達成すべく、質の高い新規出店・改装を実施しました。経費面においては、更なる生産性向上を図るべくデジタル化(省人化)等に取り組むと共に、引き続き環境経営推進に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の出店等の状況は、9店舗を新規出店いたしました。また、32店舗で改装を行い、5店舗を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の当社グループ全体の店舗数は、ドラッグストア事業1,127店舗(直営店862店舗、(株)星光堂薬局85店舗、(株)サンドラッグプラス77店舗、(株)大屋65店舗、フランチャイズ等38店舗)、ディスカウントストア事業419店舗(ダイレックス(株)419店舗)の合計1,546店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,076億98百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益122億76百万円(同12.4%増)、経常利益121億47百万円(同14.1%増)、持分法の影響等による法人税等調整額の増加はありますが、親会社株主に帰属する四半期純利益79億44百万円(同9.0%増)となり、増収・増益となりました。

セグメント業績等の概要は次のとおりであります。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業は、雨天影響等により夏物季節品の立上りに若干の遅れがありましたが、食料品を中心に原材料価格の高騰等により単価が上昇したこと、インバウンド需要の回復も緩やかに継続し、売上高が前年同期を上回りました。また、売上総利益は、前期末からの取引条件改善等により、売上総利益率を0.4ポイント改善しております。

以上の結果、ドラッグストア事業の売上高は1,332億18百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は68億40百万円(同6.7%増)となりました。

<ディスカウントストア事業>

売上高は、ドラッグストア事業と比べ食料品構成比が高く、より市場の単価上昇影響を受け好調に推移しました。また、経費面については、売上高が好調に推移したことにより、販売費及び一般管理費率を押し下げ前年同期より0.1ポイント改善しております。

以上の結果、ディスカウントストア事業の売上高は899億60百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は54億35百万円(同20.6%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億38百万円減少し、4,422億69百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億87百万円減少し、1,722億5百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億49百万円増加し、2,700億63百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表しました業績予想に変更ありません。

(注) 業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,956	62,980
売掛金	29,994	28,643
商品	98,413	101,876
貯蔵品	261	277
その他	23,153	21,195
流動資産合計	216,777	214,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	97,106	97,024
その他（純額）	39,599	40,681
有形固定資産合計	136,706	137,705
無形固定資産		
のれん	1,440	1,412
その他	7,228	7,119
無形固定資産合計	8,669	8,531
投資その他の資産		
投資有価証券	34,013	33,765
敷金及び保証金	28,411	28,251
その他	19,433	19,041
貸倒引当金	△4	△0
投資その他の資産合計	81,853	81,058
固定資産合計	227,229	227,295
資産合計	444,007	442,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,731	78,095
短期借入金	1,000	1,500
1年内返済予定の長期借入金	3,800	4,400
未払法人税等	8,180	4,110
役員賞与引当金	98	44
その他	35,696	33,710
流動負債合計	128,507	121,861
固定負債		
長期借入金	33,866	38,315
役員退職慰労引当金	281	284
退職給付に係る負債	2,102	2,150
資産除去債務	7,029	7,089
その他	2,505	2,503
固定負債合計	45,785	50,344
負債合計	174,293	172,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,931	3,931
資本剰余金	7,533	7,533
利益剰余金	263,754	264,096
自己株式	△3,868	△3,868
株主資本合計	271,350	271,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	26
土地再評価差額金	△1,782	△1,782
退職給付に係る調整累計額	128	127
その他の包括利益累計額合計	△1,636	△1,628
純資産合計	269,713	270,063
負債純資産合計	444,007	442,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	194,565	207,698
売上原価	145,408	154,358
売上総利益	49,156	53,339
販売費及び一般管理費	38,236	41,063
営業利益	10,919	12,276
営業外収益		
受取利息	28	30
受取配当金	3	0
受取保証料	71	85
固定資産受贈益	68	56
その他	66	46
営業外収益合計	238	219
営業外費用		
支払利息	20	80
持分法による投資損失	492	259
その他	1	7
営業外費用合計	514	348
経常利益	10,643	12,147
特別利益		
固定資産売却益	-	2
国庫補助金	49	21
その他	-	0
特別利益合計	49	24
特別損失		
減損損失	-	21
固定資産除却損	65	55
固定資産圧縮損	35	-
災害による損失	3	-
その他	9	3
特別損失合計	113	81
税金等調整前四半期純利益	10,579	12,090
法人税等	3,289	4,145
四半期純利益	7,290	7,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,290	7,944

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	7,290	7,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	6
退職給付に係る調整額	3	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	1
その他の包括利益合計	32	7
四半期包括利益	7,322	7,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,322	7,952
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	111,990	82,574	194,565	—	194,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,309	3	14,312	△14,312	—
計	126,300	82,577	208,878	△14,312	194,565
セグメント利益	6,411	4,507	10,919	—	10,919

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	117,741	89,956	207,698	—	207,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,477	3	15,480	△15,480	—
計	133,218	89,960	223,179	△15,480	207,698
セグメント利益	6,840	5,435	12,276	—	12,276

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益は、重要性が乏しいため、区分しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	3,945百万円	4,335百万円
のれんの償却額	28百万円	28百万円